

第5回気高地域学校統合準備委員会の議事概要

1 日 時 令和7年11月5日（水） 18：30～20：10

2 会 場 気高町総合支所

3 出席者 【委員】23名、オブザーバー4名（欠席3名）

【気高町総合支所】職員3名

【教育委員会事務局】職員6名

4 報告事項

《概要》 質疑、意見…○、 事務局回答、説明…●

（1）逢坂小児童の先行編入について

○地域にも説明できるように資料の作成をお願いしたい。

（2）放課後児童クラブについて

○児童クラブが統合された場合、地域の特色や思いを反映することはできるか。

●今後放課後児童クラブの内容等を検討する中で、統合準備委員会から反映したい地域の思い等があればご意見いただき、反映できるかを検討していきたい。なお、統合後、放課後児童クラブは新設する学校施設を使用する予定。

（3）事業スケジュールについて

○工事中、通学する児童の安全を確保できるのか。近隣にはかなり狭い道路もある。最終的には子どもの安全を十分確保できるような道路の幅に広げてもらいたい。

●工事業者が決定次第、十分に安全確保に注意したうえで検討していきたい。道路整備については安全に配慮して検討していきたい。

○説明の際は図で示すなど分かりやすいものをお願いしたい。工事については段階を踏んだ説明など、丁寧に進めてほしい。

●お示しできる段階になれば丁寧に説明させていただく。

○施設の設計について、統合準備委員会からはどのように意見を出すことになるか。

●基本設計が進み、学校施設や体育館等の配置案を作成した段階でお示しする。それに対してご意見をいただいて修正、ということを何回か繰り返す形を想定している。

○施設検討にあたっては教育ビジョンの検討を先に行うべきではないか。

●前回ご意見を受けて、可能な限り前倒しで検討を行う予定にしている。完全な前倒しはできないが、議論の内容を設計に反映できるように調整していきたい。教育ビジョンの検討については、学校教育課など、関係者と一緒に進めていく。

○鳥取市としての教育方針等があれば示していただきたい。

●教育振興基本計画というものがあり、来年度から3期目で今年度改訂を行っている。基本的コンセプトは、ふるさとを愛し、志高く、未来に向かって羽ばたいていくというイメージ。このような基本理念をもとに様々な施策を行っている。気高地域の新設統合小学校についても、この精神をもって進めてていきたい。

○勝見川の改修計画など、情報は示してもらえるのか。

●お示しできる段階になったら、県にも確認したうえでお示ししたい。

5 議 事

《概要》 質疑、意見…○ 、 事務局回答、説明…●

(1) 新設統合小学校への通学方法について

●事務局説明

○安全対策についての考えを教えてほしい。踏切の拡幅やその先の橋など、整備のためには早めに動かなければならない。ハード面の整備をしっかりやってもらいたい。

●資料にあるソフト面と、学校予定地近隣の歩道整備を検討しているが、その他についてはこの統合準備委員会でご意見を聞きながら、対策が可能かどうか検討していきたい。ただし、道路改良工事となるほど大きな整備となると、気高地域のまちづくりを踏まえた議論が必要となるのはご承知おきいただきたい。

○通学補助について、子どもが増えると家庭の負担も大きくなる。無料化なども検討していただきたい。

●鳥取市の遠距離通学補助については第1子、第2子、第3子と補助の割合が大きくなる。また次回以降、要綱を示すなどして詳しくご説明したい。

○スクールバスの計画や予定はなくなったのか。また、学校敷地内にバス停はできるか。

●まず公共交通機関を利用して通学できないかということを検討させていただき、その上でどうしても難しいという場合にスクールバスの検討とさせていただきたい。今回示した形を基本とした案について、可能かどうか検討を進める中で判断していきたい。バスの回し場は基本構想・基本計画でも示した通り、設置する方向で設計を進めていきたい。ただし、そこがバス停になるかどうかはバス事業者の判断になるため、提案等をすることはできるが確定はしていない。

○気高循環バスをもう一台増やし、路線バスやJR通学と提案されている地域の児童が利用できるようにはできないか。登校や下校に良い時間の便がなかったり、休日がどうなるのか等の問題もあるので考慮していただきたい。

●気高循環バスは既存の路線バス等が通っている路線には入れないということはご承知おきいただきたい。

○JRの拡幅は難しいと思う。現実的には一方通行や時間規制、地域の見守り等、ソフト的な対応も検討していく必要がある。

○気高循環バスの瑞穂・宝木線に乗車予定の児童数が多く、資料の数字を見るとマイクロバス等への変更が必要になると思う。

○奥沢見についてはバス停まで約2キロ程度あり、現在は保護者が送っていることが多い。令和13年の開校時には児童数がかなり少なくなっていると思うが、家庭数が少ないと送る負担も大きいため、地域の高齢者等に送迎を委託するようなことはできないか。

●別途、状況を詳しく聞き取りさせていただきたい。

○次回は、学校周辺の車の動線やバス停からも踏まえた学校までの徒步ルートなどを踏まえた資料で検討させてほしい。

○今回の通学方法について、保護者の方がどう受け止められるかというのを保護者代表の方には確認していただきたい。

○令和13年の開校時には子どもたちはかなり少なくなっている。10年20年先を考えると、この機会に

交通インフラの整備や通学補助の充実など、若い人が帰ってきたいと思えるような展望があればと思う。

●次回以降の通学方法の検討についてはご意見を参考に進めていきたい。インフラ整備等のご意見も、気高地域としてのまちづくりの計画に反映できるものがあればと思うので、総合支所等とも連携していきたい。

○工事等の安全対策は必要だが、子どもたちの安全な通学に必要なのは、保護者に情報を伝えて、保護者から子どもたちに伝えることだと思う。現在も危険な道を通学している子どもたちがいるが、保護者からの周知等で成立している。教育委員会から保護者に向けた情報発信をしっかりしていただきたい。

6 その他

『概要』 質疑、意見…○ 、 事務局回答、説明…●

●お知らせチラシについて、次回以降統合準備委員会だよりとして発行させていただきたい。

○意見等なし

『次回予定』

- ・ 2, 3か月後を予定。日程や場所等については、教育委員会から調整を行い、決定させていただく。